

研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

| | |
|---|---|
| 研究管理番号 (受付番号) | YCR20012 |
| 1 研究課題名 | 手指屈曲拘縮に対する digitolateral flap の適応 |
| 2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関) | 研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 手の外科・マイクロサージャリーセンター 医師 柳下幹男 研究分担者 同センター部長平瀬雄一、医師岩城啓修、医師小野澤久輔 |
| 3 研究期間 調査期間 | 研究期間 開始：院長許可後 ～ 終了：2021年03月31日 情報等調査期間 開始：2011年11月1日 ～ 終了：2020年10月31日 |
| 4 研究の背景・目的 ・意義・方法等 | 手術加療を要する手指屈曲拘縮の患者さんに対して、当院では局所皮弁（digitolateral flap）を用いた拘縮の解除手術を行っています。その有用性に関して、過去に前記手術を行った症例を調査し、その有用性について検討を行います。 |
| 5 研究の対象 となる方 | 2011年11月1日～2020年10月31日の間に、手指屈曲拘縮に対して、局所皮弁（digitolateral flap）を用いて手術加療を行った方。 |
| 6 <u>試料・情報等の 利用目的、利用方法</u> | 当院の豊富な症例の解析を行い、digitolateral flap の有用性について学会や論文で報告を行うこと。 |
| 7 <u>研究に用いる試料・ 情報の種類（項目）</u> | 利用する情報は、手術記録、記録写真、カルテ記録、画像診断です。個人が特定されるカルテ番号、生年月日などは情報から切り離して使用します。 |
| 8 <u>試料・情報を利用 する者の範囲</u> | 上記2と同じ範囲の者 |
| 9 <u>試料・情報の 管理責任者</u> | 上記2に示した研究責任者 |
| 10 計画書等の閲覧 | 研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります |
| 11 その他の開示 すべき情報 | 個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。 |
| 12 お問い合わせ先 | 試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人（あるいは代理人）が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 連絡先 所属：手の外科・マイクロサージャリーセンター 名前：柳下 幹男（研究責任者） 住所 東京都千代田区二番町 7-7 電話 03-3261-0401 FAX 03-3261-0402 |

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。